

1.質問者	茂辺地小学校 郷 六 航 議員
2.質問事項	「北海道新幹線を利用した北斗市の魅力発信について」
3.質問要旨	<p>○北斗市には新函館北斗駅という大きな観光資源があるので、市の魅力を伝えていくために活用できればいいと思います。例えばJRと協力して、東京駅、新函館北斗駅や北海道新幹線の車内などで北斗市の魅力を伝える短い動画や大きなイラストマップ、写真などを掲示することで、事前の知識の少ない観光客にも北斗市への興味を持ってもらえるのではないかと思います。</p> <p>○北斗市の魅力をたくさんの人達に伝えるために、これから市としてどのような活動を考えているか教えていただければと思います。</p>
4.答弁要旨	<p>○令和5年度からはこれまでの停滞期を取り戻すプロモーション活動やPR活動が必要であると考えております。</p> <p>○これまで市が取り組んできた魅力発信の主な取り組みをご紹介しますと、東京駅周辺の複数の丸の内ビルに設置されている100台を超えるモニターを活用した動画によるプロモーションや東京モノレールでの車内広告の提出のほか、JR東日本が運行する新幹線車内誌への搭載、札幌駅前通地下歩行空間での動画やイラストマップの掲出、札幌雪まつりや仙台青葉まつりなどでのブースを設置したプロモーションなど、様々な場所や方法で取り組みを進めてきたところです。このほか、例えば令和元年度に作成した北斗市全景イラストマップは、市の観光資源や観光施設を空から眺めたような全景マップで、観光客はもちろんですが、市民の方々にも知っていただく目的で市内のコンビニエンスストアのご協力を得て令和3年度から配布しているほか、約1m四方に大きく拡大したイラストマップを新函館北斗駅の観光交流センターやきじひき高原展望施設などの主要な施設に掲出し、魅力向上の発信に努めています。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○今後は、これまでも実施してきた各種プロモーション事業のほか、観光パンフレットやポスター、市や観光協会のホームページなどをさらに活用してまいります。より効果的なPRにつながるよう、例えば体験観光の短編動画を作成し、実際に訪れて体験してみたいくなるようなきっかけとなる情報発信に努めていきたいと考えております。</p> <p>○2030年度には北海道新幹線が札幌まで延伸される予定であることから、今後は札幌市をはじめとした道内各地へのプロモーション活動が重要になってきます。</p>

1.質問者	浜分中学校 三 上 晴 議員
2.質問事項 3.質問要旨	<p>「北斗市内（将来的に函館市や七飯町などの近隣の町）にある小中高での交流について」</p> <p>○他の学校での生徒会活動状況や行事の企画・運営の情報交換などを交流できる場面があると、より生徒会活動が活性化するのではないかと考えます。また、中学校だけではなくて、小学校や高校生の意見も取り入れたりしていくと、より開かれた生徒会運営ができると思います。</p> <p>○交流会が実現するならばその時にタブレットのTeamsを使ってつなぐにはどうしたらよいかなどのノウハウを伝授してほしいです。</p>
4.答弁要旨	<p>○現在、浜分中学校生徒会のみなさんが中心となって行っている、いじめに関する生徒集会やこれまで諸先輩方が培ってきた浜分魂を受け継ぎ企画運営される学校祭、そして校則の見直しについて考える3S（スリーエス）プロジェクトの取り組みを行うなど、生徒のみなさんがよりよい学校生活を送れるように活動されていることは、大変素晴らしいことだと思います。</p> <p>○他の学校との交流を通じ、その学校で行われている取り組みを参考にすることや年代を超えた児童や生徒との意見交換をすることは、新たな取り組みを模索する上では必要不可欠なものと考えます。</p> <p>○北斗市の学校の中には、GIGAスクール構想推進事業で整備されたタブレット等を活用し、オンライン会議システム等を介した学校交流授業や社会教育施設とのリモート見学学習なども行われております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○まずは市内の小中学校間での交流から始めて、つぎに高校、そして他の市町の学校と段階的に順次交流事業を拡大されてみてはいかがでしょうか。また、これまで浜分中学校生徒会で取り組まれている事業については、大変素晴らしい取り組みであると思いますので、この内容を他校のみなさんにも積極的に発信されてもいいと思います。</p> <p>○今後も教育委員会といたしましては、皆さんが積極的に、そして前向きに考え行動することに対しましては、できる限り協力・支援をさせていただきます。</p>

1.質問者	沖川小学校 高 田 玲央斗 議員
2.質問事項	「北斗市のお米『ふっくりんこ』について」
3.質問要旨	<p>○沖川小でのアンケートでは、給食のご飯がふっくりんこであることを知らない人が30%を超えるという結果でした。北斗市自慢のお米ふっくりんこをもっと知ってもらう取り組みが必要ではないかと考えます。</p> <p>○ふっくりんこのアピールのため、例えばふっくりんこのパッケージを、北斗市の子どもが考えたものにするのはどうかと思います。北斗市の名所などをイラストにして北斗市の魅力をアピールしたいという育成大会での発表があり、これをふっくりんこのパッケージにするのがいいのではと考えます。また、ふっくりんこパッケージコンクールを行うのも面白いと思います。ふっくりんこをもっと多くの人に知ってもらうために北斗市としてどのように考えているかを教えていただきたいです。</p>
4.答弁要旨	<p>○ふっくりんこは、学校給食米として北斗市内すべての小中学校の米飯給食で使用されていることから、市内小中学校の児童・生徒の皆さんは、ふっくりんこを食べて、毎日の学校生活を健康で元気に送られていることとっております。また、ふっくりんこを米粉に加工し、北斗市学校給食デザートとして作られたふっくりんこムースやふっくりんこタルトは、大人気メニューと伺っております。他にも、国内線旅客機のファーストクラスの機内食として使用されていることも大変誇らしく感じているところであります。</p> <p>○沖川小学校内でのアンケート調査で、給食のご飯がふっくりんこであることを知らない人が30%を超えるという結果だったとのことですが、おそらく他の小中学校においても多かれ少なかれ、知らない人はいるのではないかと思います。そこで、毎月配布される給食だよりの中でお知らせすることにより、市内小中学校の児童生徒やご家族の皆さんに周知が図られるものと思います。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○ふっくりんこのパッケージを北斗市の子ども達が考えたものにするですとか、ふっくりんこパッケージコンクールの実施については、ふっくりんこの日に合わせたイベントとして実施が可能かどうかを含めまして、農協さんと前向きな協議を行いたいと思います。</p> <p>○北斗市生まれのふっくりんこが、これからも将来にわたり高品質でおいしいお米として生産できるよう、引き続き、水田のほ場整備を推進していくこととお約束いたします。</p>

1.質問者	大野農業高等学校 市 戸 星 那 議員
2.質問事項	「各家庭への防災無線受信機の配布について」
3.質問要旨	<p>○有事における発信内容を市民に確実に伝えるためには、各家庭に防災無線受信機を配布することが有効ではないかと考えます。</p> <p>○家庭用の防災無線によって、北斗市から発信される市の取り組みについての情報も市民一人ひとりにより伝えることができ、市の活性化につながるのではないかと思います。</p>
4.答弁要旨	<p>○防災行政無線は、市民が生活しているすべてのエリアで聞こえるように、市内138か所にスピーカーを設置し、災害等の発生に備えた迅速な情報伝達手段として運用しています。一方で、市内では一人暮らしの高齢者が増加していることなどから、防災行政無線の内容を聞き取るため、速やかに行動することが困難な方への対応も必要であると考えており、防災行政無線から伝達される情報を、各家庭や施設内でも正確に聞き取ることができるよう、FM放送の電波を利用した防災ラジオの導入に向け、今年は電波中継施設の整備を行っているところです。</p> <p>○防災ラジオは、購入費用が1台1万円程度と高額なので、全世帯に無償で提供することは難しいと考えておりますが、このラジオを必要とする方の把握に努め、高齢者のみの世帯などについては、なるべく市民負担が少なく済むような支給方法を検討してまいります。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○災害等緊急時の情報伝達は、予期せぬ災害の発生時点で、様々な状況下にある市民一人ひとりに対し、速く正確に行うことが重要ですので、防災ラジオによって、緊急時の情報伝達がすべて解決できるものではありません。</p> <p>○市民一人ひとりが情報伝達を行うことによって、住民同士の関わりが深まり、地域コミュニティの活性化につながるものであり、防災の基本である共助の取組みを進めていくためにも、町内会など地域コミュニティの活性化は大変重要であると考えております。</p>

1.質問者	函館水産高等学校 山口 祈 吹 議員
2.質問事項	「住みよいまちづくりについて」
3.質問要旨	<p>○北斗市に函館でいう函館病院や中央病院などのような大規模な病院を建てた方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>○北斗市・函館市を含め、多くの観光施設が見られます。それに対し、私たち中高生が楽しめる施設を増やすべきだと考えます。未来を担う私たちが楽しめる地域であってほしいと思います。</p> <p>○池田市長の思う北斗市と函館市の大きな違いを「地域福祉」について教えてください。</p>
4.答弁要旨	<p>○北斗市に大規模な病院をつくることは、様々な病気治療ができることへの安心感や通院がしやすくなるといった利便性の向上、雇用など経済面で様々な利点がありますが、全国的な医師不足の他、コロナ禍において、予定入院や予定手術の延期、受診控えなどによる医療収入の減少があることから、病院経営は非常に難しい状況になります。</p> <p>○施策を展開するうえで優先度を考慮した事業展開はとても重要となりますが、その中でも大型施設の新たな整備は、多額の建設費用を必要とし、維持管理にも大きな負担が伴いますので、費用対効果はもちろんです、経済波及効果なども検証する必要があると考えています。</p> <p>○北斗市と函館市では、それぞれ抱えている地域の課題等があるため、様々な違いがでます。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○北海道では、医療圏域として21の地域に分けて、近隣の市町村と協力し、その地域の入院ベット数や救急医療体制などの見直しの必要性を検討しています。現状では、一定程度、地域内で適切な医療を提供できている状況にあります。</p> <p>また、市は救急車で迅速な搬送やドクターヘリで医師、看護師が現場に急行する仕組みを構築することで、救急を含めいつでも素早く適切な治療を受けられる医療体制の他、夜間や休日などの救急患者の診療体制を確保しています。</p> <p>今後は、さらに徒歩等でも通院しやすいメディカルビルや、民間の大規模な病院の誘致など更なる医療体制の充実を目指し、引き続き渡島医師会との情報共有に努めてまいります。</p> <p>○現時点で、子どもたちが楽しめるようなレジャー施設やテーマパークなどを整備する計画は持ち合わせていませんが、歴史や文化を深く知ることによって、未来を担う子どもたちが誇りに感じ、住み続けたいと思えるきっかけとなるのではないかと考えています。また、北斗市内では、ほぼ毎月のように市内各所で様々なイベントや催事が開催されており、積極的にこのようなイベントに参加することで、北斗ならではの楽しみ方を体験し、次の世代に引き継がれていくことを期待しています。</p> <p>○今後も、市は地域福祉によって、地域で暮らすみんながより一層、安全安心で生活できる社会を目指してまいります。</p>

1.質問者	上磯小学校 太田 凜 駕 議員
2.質問事項	「観光客の集客について」
3.質問要旨	<p>○今後、北斗市とJRの連携をより強化して、北斗市にたくさんの観光客の方が来てくれるような計画はありますか。</p> <p>○小・中学生から、新函館北斗駅のアナウンスを市内の小・中学生のものにしたり、駅構内のBGMを各学校の校歌にしたりするといったようなアイデアをたくさん集めるのはどうでしょうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○2030年度には北海道新幹線が札幌まで延伸される予定となっており、現在は特急で約3時間30分の時間を要していますが、延伸後は約1時間で結ばれることで利便性が一層高まり、多くの観光客やビジネスマンが増加するものと期待しています。</p> <p>○市では令和4年度からJR北海道などと連携し、新函館北斗駅での団体客に対するお出迎え事業や車内販売事業を行っているほか、上野駅や仙台駅構内では本市の魅力を伝えるPR事業を実施し、少しずつではありますがコロナ禍以前のプロモーション活動が再開できるようになってきています。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○JR北海道に確認したところ、駅構内でのアナウンスや校歌をBGMとして活用することは、列車をご利用されるお客様へのご案内が行き届かない可能性があることなどから難しいとのことでしたが、おもてなしを目的とした取り組みとしてはとても参考となるアイディアではないかと考えています。新函館北斗駅にある観光交流センターには、誰でも自由に弾けるグランドピアノが用意され、ミニコンサートや演奏会などが頻繁に開催されており、来訪されたお客様へのおもてなしの一環にもなっていますし、今後もお出迎え列車事業は継続して実施する予定となっております。</p> <p>○北海道新幹線は、2030年度の札幌延伸に向けて工事が進められておりますが、延伸後は本市が北海道新幹線の間駅になるという特性や利便性を活かし、食や体験観光のほか、他にはない美しい自然環境や景観をPRすることで、多くの人口が集中している沿線の札幌圏域や仙台圏域のお客様が訪れてみたくなるような集客策を施したいと考えています。</p>

1.質問者	島川小学校 荒 諒 祐 議員
2.質問事項	「北斗市の観光客を増やすことについて」
3.質問要旨	<p>○一つ目は、ずーしーほっきーを主役とした市の宣伝活動です。ずーしーほっきーを話せる設定にしたり、SNSへの投稿をしたりしてはどうでしょうか。また、町内の5時の音楽で赤とんぼだけでなく、ずーしーほっきーの歌を流すというのはどうでしょうか。</p> <p>○二つ目は、新函館北斗駅でのPR活動です。プロジェクションマッピングや駅構内での隠れずーしーほっきーの企画、映える看板の設置などはどうでしょうか。これらを行うことで北斗市の未来はすてきに広がり、僕たちが将来、住みたいふるさとになると思います。</p>
4.答弁要旨	<p>○ずーしーほっきーを主役とした宣伝活動についてですが、ずーしーほっきーは、北海道新幹線開業を契機として、北斗市をPRしていくために、公立はこだて未来大学や市民の皆様との協働により誕生した本市のキャラクターで、現在は、北斗市の宣伝隊長として活動しております。ずーしーほっきーがスマートフォンなどの画面上で北斗市の魅力を紹介するばーちゃんずーしーを、令和3年度から公開しております。また、ばーちゃんずーしーを見た方が、それぞれSNSに投稿していただくことで、本市の魅力が拡散されるといった効果も期待しております。その他にも、出演するイベントや本市の取り組みなどについて、フェイスブックに投稿し、情報発信に取り組んでおります。</p> <p>○駅構内での隠れずーしーほっきーの企画は、駅舎や観光交流センターのガラス面に衝突防止のための赤とんぼのシールが751枚貼られており、この中に7体隠れているというものですので、機会がありましたらぜひ探していただきたいと思います。また、映える看板の設置については、令和元年度から駅周辺をイルミネーションで装飾する事業を行っており、今年の冬には60mのイルミネーショントンネルを設置するなど来訪される方に楽しんでいただけるよう点灯させる準備を進めているほか、令和3年度は光るずーしーほっきーのモニュメントを設置し、いわゆる映えポイントとして北斗市や駅の知名度向上に努めています。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○市内の午後5時の防災無線による時報を、赤とんぼの曲だけではなく、ずーしーほっきーの歌を流すことについては、現在、赤とんぼの曲が市民の皆様生活に定着しておりますので、変更は難しいものと考えておりますが、宣伝隊長であるずーしーほっきーを積極的に活用し、本市の知名度向上や魅力の発信を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>○これらの取り組みはあまり知られていないようですので、もっともっとたくさんの方々が興味を抱き、新函館北斗駅周辺に来訪していただくきっかけとなるよう工夫をしなければならぬと感じています。</p>

1.質問者	石別中学校 小 川 源 稔 議員
2.質問事項 3.質問要旨	<p>「北斗市の観光について」</p> <p>○北斗市を活性化させるため、観光を活用すれば良いと考えました。観光資源をうまく活用すれば多くの人に北斗市を知ってもらったり、経済が回ったり、様々な効果が得られると思います。</p> <p>○観光を通して、まずは興味をもってもらうことから始めてはどうでしょうか。そうすれば、動画やホームページを見る人が増え、北斗市に興味をもってもらえると思います。</p>
4.答弁要旨	<p>○北斗市の観光に関する本格的な取り組みの歴史は浅く、きっかけは平成28年3月の北海道新幹線開業により多くの来道者が見込まれたことから、平成24年度を観光振興元年と位置付け、きじひき高原の整備活用、桜回廊事業の推進、体験型観光の振興、スポーツ合宿の誘致、トラピスト修道院の景観活用の5つを取り組みの柱として掲げ、受入体制の強化を図りながら、本市の価値や魅力をPRし、複数の分野で本格的な取り組みを行ってきたところです。この間、北斗の魅力を発信するため、北海道新幹線の開業によって身近となる北関東や東北地方の沿線自治体で北斗の観光資源や特産品などを素材としたプロモーション活動を展開し、少しでも多くの方に来訪していただくための策を講じてきたところです。また、PR事業の一環として各種動画を制作し、市のホームページや観光協会のホームページにアップし、視覚的に本市の魅力を訴えることで更なる誘客を図ってきたところで、観光関連の動画は現在、観光協会と市のホームページには合計27動画20コンテンツの動画がアップされています。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○観光を活用することで市内を周遊させ、滞在時間を延ばすことで、消費活動が活発化され、様々な効果が生み出されると考えており、市では令和2年度から北斗の観光を体験できる機会をもっと増やすための事業を展開しており、令和4年度には石別地区などで、観光協会や民間事業者と連携し、トラピスト修道院周辺や葛登支岬灯台周辺でモニターツアーを実施しています。観光協会ではこれらのツアーをもっともっと造成し、たくさんのお客様に来訪していただくため、更に多くの動画などで北斗市の良さをPRしようと計画しているところです。</p> <p>○北斗市には数多くの観光資源がありますので、まずは北斗市に興味を持っていただくために、テレビ局などに売り込みを図るほか、魅力ある動画などを継続的に制作し、北斗市のリピーターやファンがたくさん訪れる観光地づくりを目指していきたいと考えております。</p>

1.質問者	浜分小学校 渡 谷 桔 平 議員
2.質問事項 3.質問要旨	<p>「恵まれたスポーツ環境を生かした取り組みについて」</p> <p>○スポーツを通して、北斗市の魅力を知ってほしいと考えています。実業団選手が合宿や試合に来ていることをポスターで知らせたり、地元小中学生チームとの交流があったりしたらいいと考えています。また、ドッジボール大会のように市民一人ひとりがスポーツを遊び気分から気軽に始められるようなイベントがふえたらいいのではないかと思います。</p> <p>○今後、プロを目指す人のサポートや、市民の健康増進のためにどのような取り組みをお考えでしょうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○現在は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しておりますが、それまでは、市内3か所にある電光掲示板や陸上競技場など現地での歓迎のほりによるお知らせのほか、ホームページによるお知らせを行ってきたところです。また、スポーツ教室については、実業団チームの高い技術を間近で見られる強みを活かし、陸上競技を中心に開催してきた実績があり、市内の小中学生にオリンピックの出場経験があるアスリートから練習方法や体の動かし方などをわかりやすくご指導いただいております。</p> <p>○本市ではプロを目指す人への直接的な支援は行っていないものの、競技スポーツへのサポートについては、スポーツ協会の方と連携しながら進めています。そのほか、地区大会を勝ち抜き、全道、全国大会に出場する市内の小・中学生に対し、参加するために必要な交通費や宿泊費の補助を行っており、今後も継続していきたいと考えています。また、市民の健康増進については、楽しい生活を送るためには必要なものであり、そのための一環として総合運動公園のリニューアル工事に取り組んでいるところで、幼児から高齢者の方まで、幅広い年齢層の方が楽しみながら健康増進が図られる施設改修を進めており、北斗スポーツクラブと連携をし、多くの市民の皆様が参加できるスポーツ大会やスポーツ教室を開催していきたいと考えています。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○今後は、スポーツ合宿と一流選手の融合をさらに深め、ラグビーやサッカーなど様々な種目にも広げていきながら、スポーツに対する興味関心を高めていきたいと考えております。</p> <p>○スポーツを通じた様々な取り組みは北斗市の魅力であり、これらの魅力を知っていただくことによって、市民の皆さんに誇りを持っていただき、多くの方が北斗市へ訪れるきっかけとなるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p>

1.質問者	大野小学校 山 崎 夏 音 議員
2.質問事項	「北斗市のおいしい農産物について」
3.質問要旨	<p>○北斗市のおいしい農産物が北斗市以外の全道・全国に広まっていけばいいなあと思っています。</p> <p>○一つ目は、宣伝用のポスターを作り、様々な場所に貼る事です。</p> <p>○二つ目は、試食会などのイベントをすることです。</p> <p>○三つ目は、ふるさと納税の返礼品にすることです。</p> <p>○いろいろな人に、北斗市の農産物のおいしさを伝えるために、北斗市ではどのような取り組みをしていますか。また、今後どのような取り組みをお考えですか。</p>
4.答弁要旨	<p>○一つ目の、宣伝用ポスターを作り、様々な場所に貼ることについては、消費者の目に映るとも効果的な取り組みと思われることから、農協と連携しポスターを作成した上で、市場やスーパーなどの販売店に貼ってもらうことで、情報発信を図って参りたいと思います。</p> <p>○二つ目の、試食会などのイベントをすることについては、食や農産物をテーマとしたイベントや、農協直営のファーマーズマーケットあぐりへい屋でのイベントにおいて、北斗市の農産物の特徴やおいしさをどんどんPRして参りたいと思います。</p> <p>○三つ目の、北斗市の農産物をふるさと納税の返礼品にすることについて、本市のふるさと納税の返礼品については、現在、農産物では、ふっくりんこをはじめとした米のほか、夏はトマトやアスパラガス、今の時期はかぼちゃといった季節の野菜、野菜の詰め合わせセットなどが登録されています。本市の魅力のある産品を広く紹介するため、これまでふるさと納税に出品していない市内事業者に出品を呼びかけたり、既にふるさと納税に出品している事業者には新たな商品の出品を促すなど、多くの地元産品を紹介するための取り組みを行ってまいりました。このような取り組みによって、農作物では、大野農業高校で収穫したリンゴを出品いただくことにもつながっております。また、ふるさと納税の専門誌や東京都内向けの新聞に広告を掲載しPRを行ったり、本市のふるさと納税を募集するポータルサイトを追加するなど、全国の方々に本市のふるさと納税をご利用いただくための取り組みも実施しております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○今後もこのような取り組みを行いながら、農産物など新たな返礼品の登録を進め、全国に魅力を発信してまいりたいと考えております。その他、市長自身、農協や生産者の皆さんと一緒に、道内や関東・関西の市場を訪問し、北斗市の農産物を大いにPRしていますし、これからも継続して取り組んでいきたいと思っています。</p>